

前回の質疑応答における回答(補足)

令和8年9月30日

令和8年度 第2回 八潮市下水道事業審議会



1. 前回の質疑応答における回答（補足）
2. 前回の審議会のおさらい

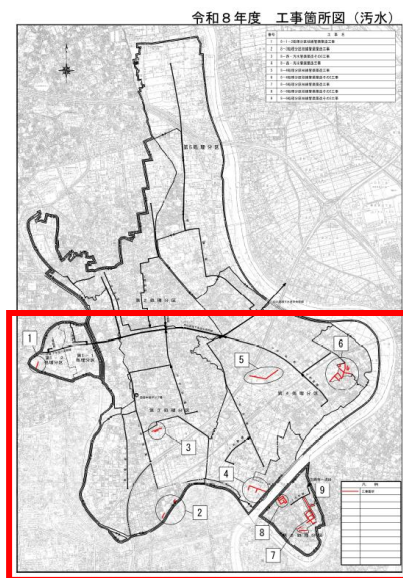
1. 前回の質疑応答における回答（補足）

2. 前回の審議会のおさらい

【前回質疑応答①】 整備予定に関する補足説明

Q:西袋の綾瀬川西側区域の下水道整備予定はどうなっているか。

令和8年度工事箇所(予定)



現在、市の南東側で多くの工事を行っているが、必要に応じてそれ以外の地域でも工事を行っている。



【前回質疑応答②】耐震化計画

Q:市が管理している施設の何割が耐震化となっているか。耐震化を行ううえでの優先順位について教えてほしい。

【耐震化を行う対象施設】

・管路施設

- ① マンホール浮上防止対策 102 箇所
- ② 管路耐震化(マンホールと管きよ接続部の耐震化等) 6,484.15m

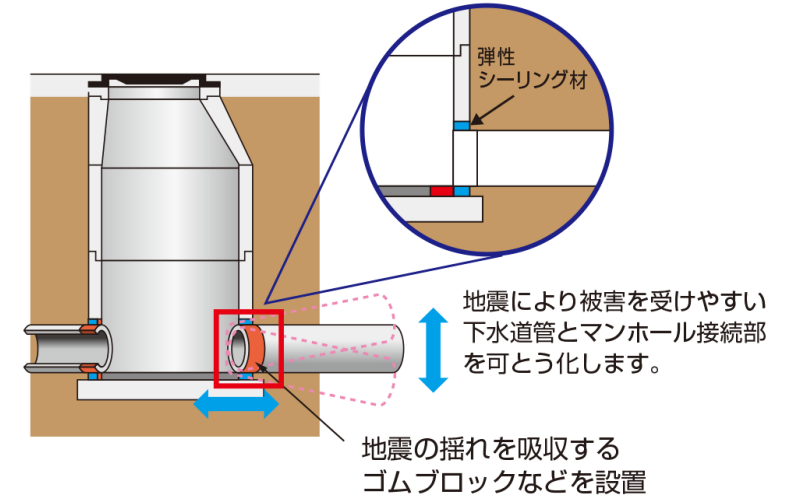
・その他施設

- ③ マンホールトイレシステム整備 15基

※八潮市下水道総合地震計画(R4～R13)

【耐震化の優先順位づけで考慮する事項】

- 1. 幹線管きよ
- 2. 想定被害規模が大きい
- 3. 緊急輸送道路下に埋設
- 4. 河川・軌道の下を横断
- 5. 地震対策上重要な施設
- 6. 中大口径の管きよ



マンホールと管渠接続部の耐震化

出典：東京都下水道局HP

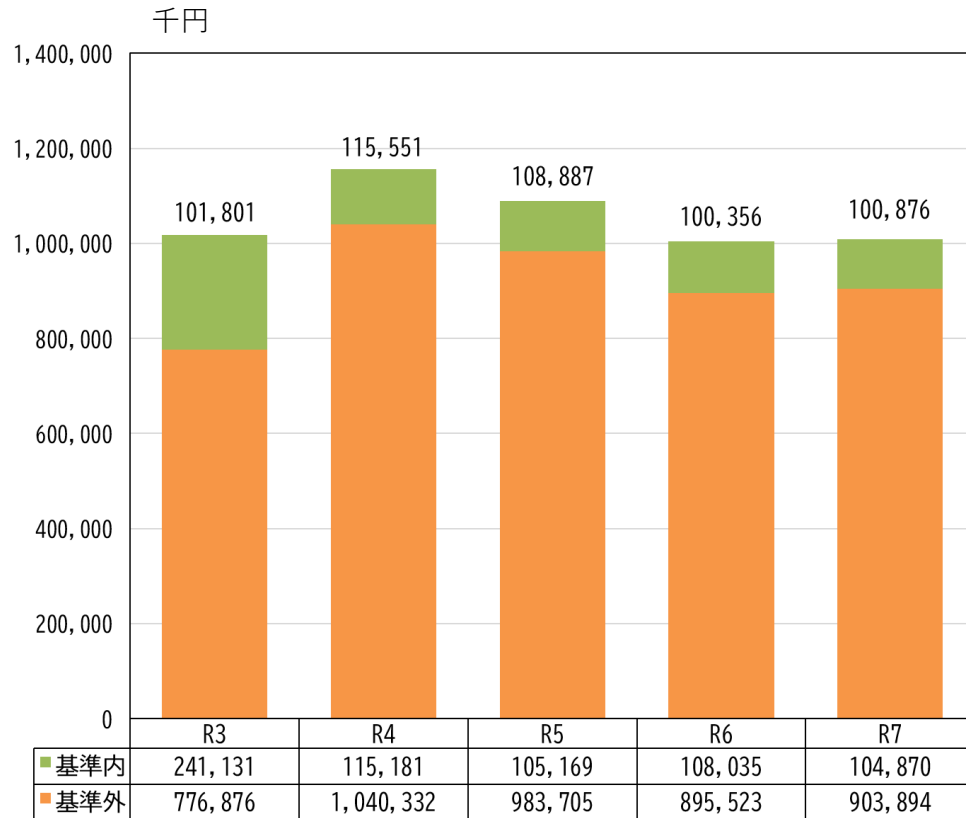
【現在の進捗状況(令和7年度末時点)】

- ・管路耐震化:耐震化率 95.9%
- ・マンホール浮上防止:耐震化率 73.5%

【前回質疑応答③】一般会計繰入金の推移

Q:公費で負担すべき経費と、受益者が負担すべき污水处理費の不足分を、一般会計からいくら繰入れているか、年度ごとの推移も含めて次回示してほしい。

一般会計繰入金の年度別推移



一般会計繰入金総額は
近年**約10億円**で推移

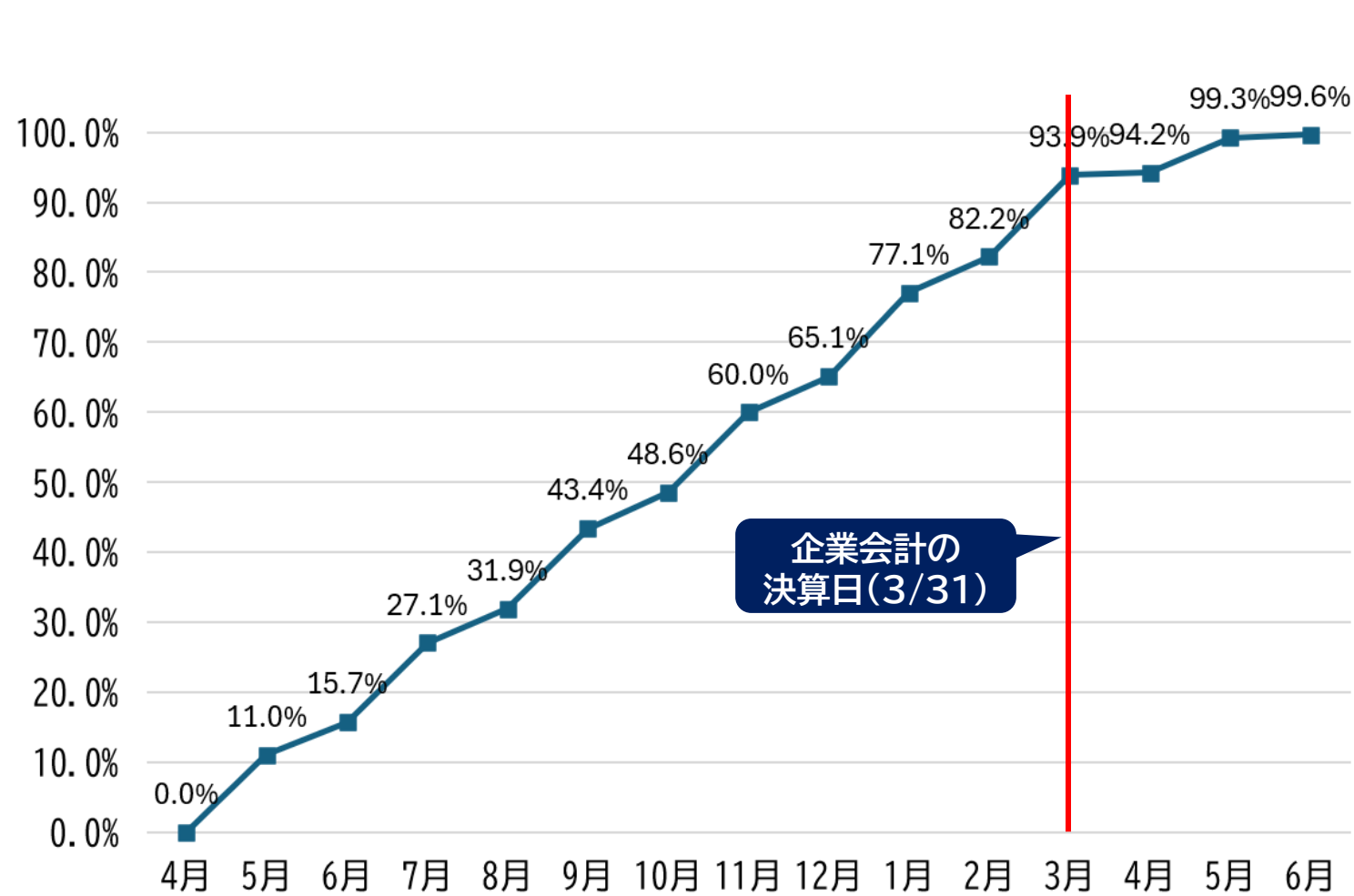
そのうち基準外繰入金は
約9億円

今後、この基準外の繰入金を減
らしていく必要がある

【前回質疑応答④】 収納率に関する補足説明

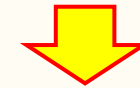
Q:水道と下水は一緒に料金が徴収されているが、収納率はどうなっているか。

年間請求額に対する月別収納率(直近3か年平均)

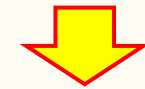


【収納率の推移】

企業会計決算日の
3月31日時点収納率は
平均93.9%



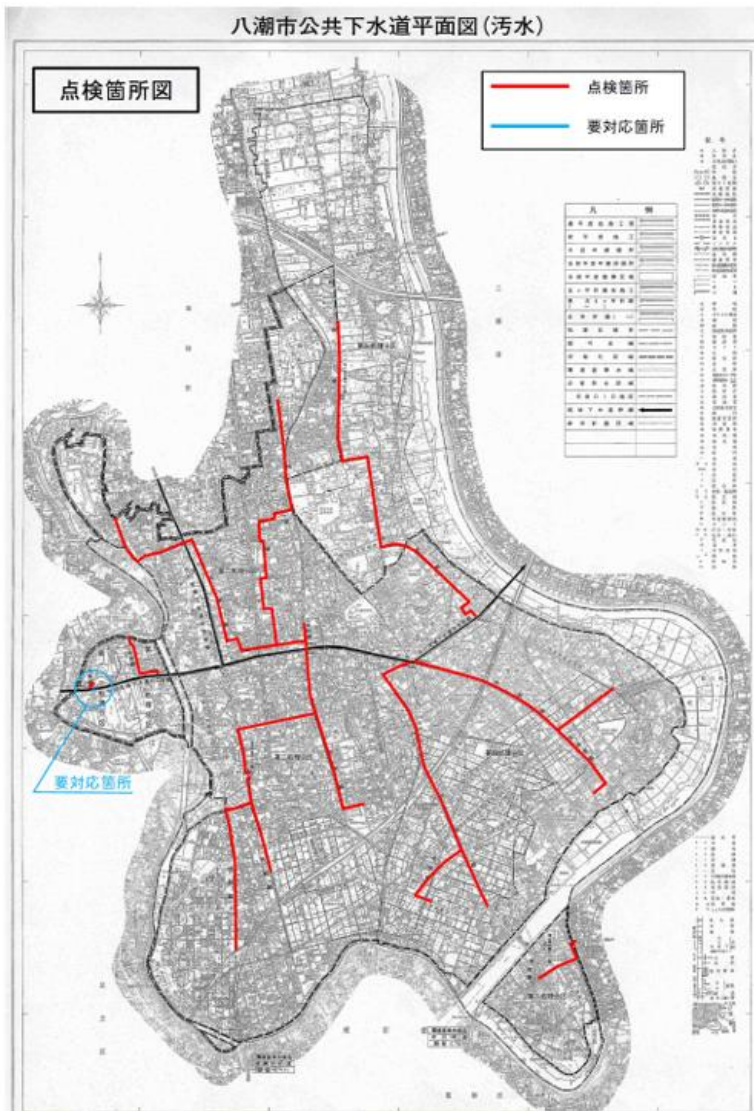
3月請求分など4月以降
に収納される使用料も多数



➡6月末時点平均99.6%
企業会計上、3月31日時点の
決算日では低く出てしまう

【前回質疑応答⑤】 腐食箇所 の点検調査

Q: 陥没事故を受けて行っている調査点検の進捗状況と、腐食の恐れが高い箇所の公表の有無を教えてください。



陥没事故を受けて実施した緊急点検の内容及び結果

市が管理する汚水幹線について、マンホール蓋を開けての緊急点検を実施(2025年2月17日～3月19日)

➡西袋地内の汚水幹線に接続する管渠に一部腐食が確認され、管渠更生工法による改築工事を実施(2026年5月完了)



管渠上部腐食状況



管渠更生後状況

【硫化水素腐食が発生しやすい物理的条件】

- ・特殊排水が排出される箇所
- ・酸素がない密閉空間となる箇所
- ・水流や落差によって汚水がかくはんされる箇所

【点検・調査の方法】

■点検の方法

- ・マンホール蓋の点検は、道路上から目視により破損・がたつきなどの異状を確認する
- ・管及びマンホール本体の点検は、マンホール内からの目視により管内状況、マンホール内部の異状の有無を確認する

■調査の方法(点検で異状が確認された箇所が対象)

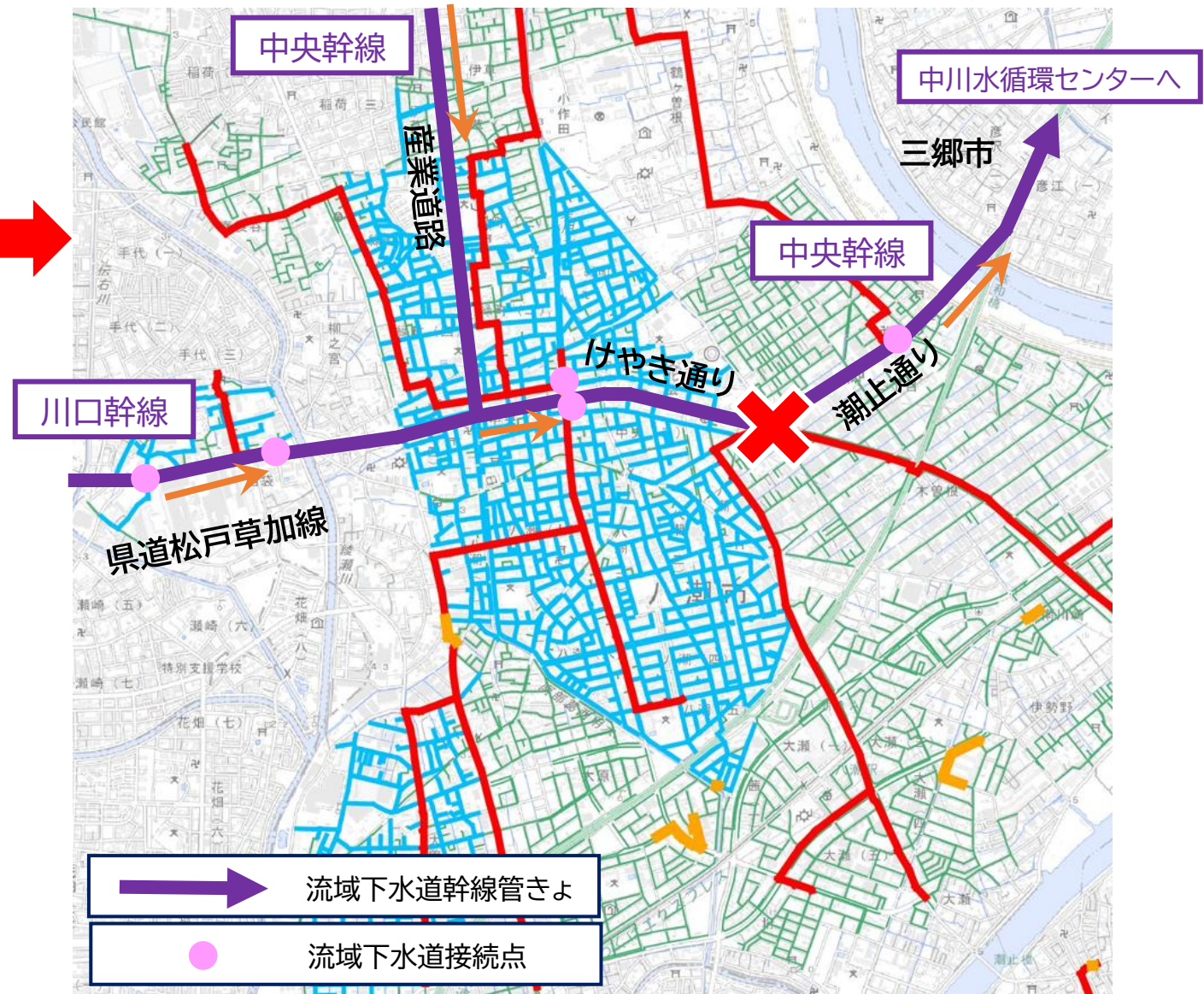
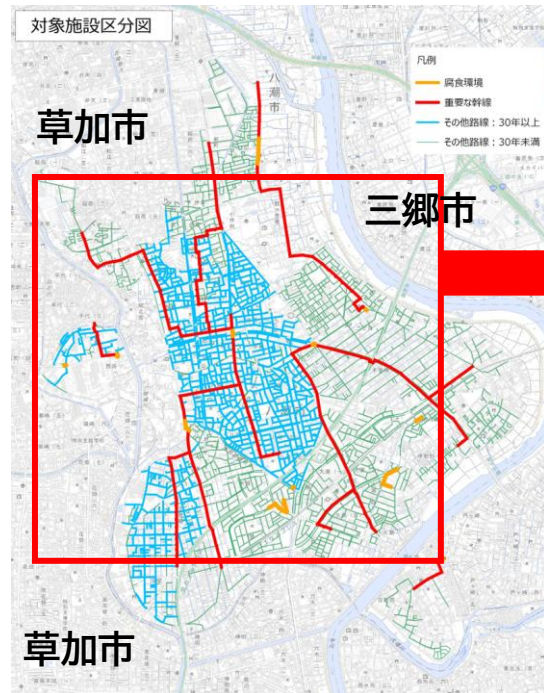
- ・TVカメラなどを用いた詳細な視覚調査を実施する



マンホールから管口カメラを用いた点検作業の様子

【前回質疑応答⑥】 県と市の管理区分

Q:埼玉県が所管する流域下水道と八潮市の所管する公共下水道の違いを説明してほしい。



県が管理する管渠は、北側から産業道路を南下する**中央幹線**に、西側から県道松戸草加線沿いの**川口幹線**が合流し、けやき通りから潮止通りを通過して三郷市内にある中川水循環センターへ向かいます。

1. 前回の質疑応答における回答（補足）

2. 前回の審議会のおさらい

- 下水道事業は「**受益者負担の原則**」・「**独立採算の原則**」に基づき経営しなければならないが、費用が賄えず、一般会計からの基準外繰入金を**毎年約9億円**入れている状況。
- 引き続き、未接続者への水洗化促進、建設コストの削減、不明水対策などを行い、繰入金の縮減に努めていくが、使用料についても、過去の審議会答申に基づき、段階的な値上げが必要